



報告

2018年8月1日 東京信徒会・全国信徒会

信徒運動「共に伝えよう」ワークショップ的講演会

キリスト者としての “SNS”の使い方

2018年7月21日(土)13:30~16:00 富士見町教会

講師：春原禎光牧師 日本基督教団柏教会

主催：東京信徒会・全国信徒会

出席：60名(会員外36名+会員24名)

記録的猛暑のなかの出席(富士見町の温度：35度プラス?)

- ☆ ツイッターで「つぶやく」。
- ☆ SNSの世界で非キリスト者との接点が増える。
- ☆ 教会の敷居を低く。
- ☆ 春原先生は何をどう勧められたのでしょうか・・・。

1. 開催にあたって

- 1) 主の伝道のわざに、私たちはどのように導かれ押し出されるのでしょうか。
- 2) 私たちは主のお恵みにより幸せな教会生活をおくっております。しかし、若い人を招くことが出来ないでいます。その中で教団の教勢は下がっていきます。
- 3) 昨年、第2回教団常議員会決議=伝道推進基本方針 1. 祈祷運動「共に祈ろう」 2. 信徒運動「共に伝えよう」 3. 献金運動「共に献げよう」が示されました。
- 4) この基本方針・第二の柱、信徒運動「共に伝えよう」に呼応する形で、東京信徒会・全国信徒会によって、この会がもたれました。
- 5) 2000年前、人が手紙を預かってコリントへ届けました。郵便馬車が通るようになりました。切手を貼れば、どこへでも届くようになりました。電線をはりめぐらして話ができるようになりました。電線が無くても、手紙が送れるようになりました。物を買うにもスマホ。なにかと事件が起こったりしても・・・。
- 6) 私たちはインターネットの海を自分のためだけに享受しています。この無限にひろがる海の中で、私たちはどうしたらよいのでしょうか？
☆「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」ヨハネ 21:6
- 7) さあ、みんなで、漕ぎ出してみましよう。

2. プログラム

- 1) 開会礼拝 司式 奥山盾夫 奏楽 鈴木優子
前奏
讃美歌 369番「はたらきびとに 主はいませり」
聖書 イザヤ書30章18節
祈祷
後奏
- 2) 司会 中澤基行
挨拶 東京信徒会会長 奥山盾夫
挨拶 全国信徒会会長 望月克仁
- 3) ワークショップ的講演会
信徒運動「共に伝えよう」
「キリスト者としての“SNS”の使い方」
講師 春原禎光(すのはら よしみつ) 日本基督教団 柏教会牧師
- 4) 質疑・応答

* * *

キリスト者としてのSNSの使い方——ツイッターでつぶやこう！

はじめに（１） 私は牧師です。

- 牧師でなくてもできるような話はしません。
- 信徒一人ひとりがキリスト者として生きるために。
- 人々の身近にキリスト者がいることを知らせる。
——SNSを用いて
- ひとりでも多くキリスト者がSNSで発信を。



日本基督教団柏教会牧師 春原禎光 すのはらよしみつ

はじめに（２） 操作方法について

スマホの操作方法は、OSによって異なる。

バージョンによって細かく異なることもある。

- 操作方法は、若い人に聞く。
- 教会の青年に、子に孫に聞く、やってもらう。
→ 喜んで手伝ってくれるでしょう。

はじめに（３） 言い訳

- Windowsしか知りません。
- Androidしか知りません。
- フリック入力できません。
- スマホは持っていません。
- SNSを使いこなしていません。
- 私なりのとらえ方で。

はじめに（４） 対象者

- 個人（教会としての活用法は取り扱わない）
- 信徒（牧師としての使い方は別の機会に）
- 高齢者（若い人は自分でできる）
- 初心者（少しでも分かるように）

スマホ（１） スマホかPCか

- スマホなら空き時間にSNSをチェックできる。
- SNSはパソコンでもできる。
- パソコンの方が入力しやすい。

スマホ（２） セキュリティ対策

- OSを常に最新版に 通知が来たら必ず更新
- セキュリティソフト 最初から入っているアプリに登録。
- 画面をロック パターン、PIN、パスワード 盗難・紛失の際、中身を見られない。

SNS（１） なぜSNS？

- ホームページやブログよりもSNSの方がすぐに始められる。
- 一人ひとりの「いいね」などで情報が拡散していく。
- 情報のある場所に見に行く必要がない。
- 自分がキリスト者であることを常に表明していることができるコミュニティ。

SNS（２） キリスト者としてのSNS

SNSを使うことで、

- キリスト者がいることを知らせることができる。
- 非キリスト者との接点を増やすことができる。
- 敷居を低くできる、警戒心を小さくできる。

そのために、

- キリスト者であることを明らかにする。
- 発信する内容は、信仰に関係なくて良い。

SNS (3) ホームページ、ブログ?

ホームページ：多くの情報を分類・階層化して提示できる。

ブログ：ある程度まとまった分量の文章・写真などに適。

どちらも、情報が拡散するというより、見に来てもらう。

SNS (4) SNSの特徴

- 時系列性が強い。古い投稿はどんどん過去に埋もれていく。
- 情報を整理して発信することには向かない。
- 自分の意見に共感してくれる仲間が増える。自分と異なる考えの人との関わりも生じる。

SNS (5) 主な SNS

SNS=Social Network Service

- LINE
- Twitter
- Facebook
- Instagram

SNS (6) ライン (LINE)

- 家族とのメール代わりの連絡
- 若い世代は、親しい友人とおしゃべり
- 相手が読んだかどうか分かる 災害などの緊急時の安否確認に
- セキュリティに注意

SNS (7) インスタグラム (Instagram)

- 出来るだけきれいな写真を
- 若い人は、「輝いている自分」を演出 グルメ、旅行、ショッピング
- 写真が上手な高齢者向け

SNS (8) フェイスブック (Facebook)

- 実名で登録 昔の友だちや今の知り合いと「つながる」
- 日常での出来事・消息をみんなに報告する感じ
- アカウントを持っていないと見られない
- 視覚障がい者には読みにくい
- プライバシーに厳重注意

SNS (9) ツイッター (Twitter)

- 匿名でも可
- 独り言も、まじめな主張も、すべてつぶやき
- 140字、写真も可
- 自由に誰かをフォローする
- 「いいね」や「リツイート」で拡散

SNS (10) おすすめは Twitter

- LINE：不特定多数に向けた発信には不向き

- Instagram : きれいな写真がないと無意味
- Facebook : リアルでの知り合い中心
- Twitter : 自分の投稿が多くの人に拡散

Twitter (1) キリスト者としてのツイッター

- キリスト者であることを「プロフィール」に記す。
- 匿名でもよい。ただし、発言に責任を。
- 投稿（ツイート）する内容、発信する情報は、信仰に関係なくて良い。

Twitter (2) ツイートする内容

- ツイート（投稿）する内容は、自由。ただし、他者の人権、人格、法律を侵さない。
- 「伝道しなきゃ」などと力まない。
- 「つぶやき」でよい。
- 日記、行動の記録、趣味、思ったこと、感じたこと、考えたこと、読んだ本、メモ、備忘録、聖句、祈り。

Twitter (3) ツイートの仕方

- 140字に収める。
- 誤解を生まない表現、意味の通じる日本語で。
- 写真はなくてよい。
- 一週間に1回でもよい。自分のペースで。
- 思わぬ批判や反応が来ることを恐れない。

Twitter (4) 基本的な機能

- 自分にとって有用な投稿、いいと思ったツイートに「いいね」する。
- 投稿をいつもチェックしたい人を「フォロー」する。
- 他の人のツイートの、自分につながっている人（フォロワー）にも知らせる「リツイート」。

Twitter (5) いいね

- 自分がいいと思ったツイートに「いいね」する。
- 読んだことを相手に知らせる時にも「いいね」。
- 自分がその投稿に「いいね」したことが周りの人にも通知される。
- 自分の投稿が、見知らぬ相手から「いいね」されることもある。

Twitter (6) フォロー（その1）

- 自分がいつもツイートをチェックしたい人をフォローする。
- 他の人からも自分がフォローされる。その人は自分にとってフォロワー。
- 少しずつフォローする人を増やし、少しずつフォロワーが増えていく。
- ただし、数の増減に一喜一憂しない。

Twitter (7) フォロー（その2）

怪しい人・変な人をフォローしない。

- 素性の分からない人
- 極端な意見の人
- 異端・カルトの人

※あとからフォローを解除することも自由にできる。

Twitter (8) フォロー（その3）

変な人からフォローされたとき、基本は無視。

- あなたをフォローする／しないは、相手の自由
- ただし、異端・カルトに注意

- 自分の判断で、この人ヤバいかもという人からフォローされたら、「ブロック」する。

Twitter (9) リツイート

- 他の人のツイートを、自分も広く知らせたい場合は「リツイート」する。
- 自分をフォローしてくれている人たち、すなわちフォロワー全員に伝わる。
- 見知らぬ人が自分の投稿を「リツイート」して広めてくれることもある。

Twitter を楽しむために (1)

反応に一喜一憂しない。

- 「いいね」が付くかどうか、気にしない。
- 「リツイート」されるかどうか、気にしない。
- あなたにとっては重要な主張でも、他の人には単なるつぶやきかもしれない。

Twitter を楽しむために (2)

思いもよらない反応はスルーする。

- 自分とまったく考えの異なる人に直接、自分の言葉が届いてしまう。
- 匿名によって、誇張された言論、過激な論調が飛び交う。
- 文字中心なので、主張がはっきり出、また、誤解を生みやすい。

Twitter を楽しむために (3)

ツイートはしよせん「つぶやき」、「ネタ」

- 他の人の投稿は、真に受けない。
- 返事する必要はない。誤解を解く必要もない。
- 絡んでくる人を相手にしない。
- 絡まない。気に触る内容でも、無視する。
- 文章の意味が通じない場合も無視。
- 「スルーする」こと。

Twitter を楽しむために (4)

入れ込みすぎない。

いつでもツイッターを離れていい。

- いやになったら、しばらくツイッターを離れる。
- 別のSNSに移る。Facebookの方が居心地がいいこともある。
- 現実の世界でしっかり生きる。

なぜ情報発信するか

他人の投稿を見るだけでは、単なる暇つぶし。

- キリスト者がSNSの世界にも生きて存在していることが大事。
- SNSは、職場、地域、趣味の会、あるいは教会と並ぶもう一つのコミュニティ。
- しかし、反応を期待せずに「つぶやく」。
- 「つぶやく」こと自体の楽しさ。

まとめ

一人でも多くキリスト者がSNSで発信を。

それによって、

- キリスト者がいることを知らせ、
- 非キリスト者との接点が増え、
 - 少しでも、教会への敷居を低くし、宗教への警戒心を和らげることができたら、と願う。

以上

「キリスト者としての SNS の使い方」

ワークショップ的講演会 アンケート 集計報告 (出席 60・回収率 72%)

☆事前アンケート (31) + 当日アンケート (43) = 74 名の方から回答いただきました。

ご参加ありがとうございました。

1. 参加人数

出席数	人数	%	事前回答	人数	%
女性	18	30%	女性	9	29%
男性	42	70%	男性	22	71%
合計	60	100%	合計	31	100%

2. アンケート回答された方の年齢構成 (60代以上の方 81%)

性別	年代別	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
女性	人数	0	2	3	9	6	3	23
	%	0%	3%	4%	12%	8%	4%	31%
男性	人数	1	0	8	14	18	10	51
	%	1%	0%	11%	19%	24%	14%	69%
合計	人数	1	2	11	23	24	13	74
	74	%	1%	3%	15%	31%	32%	18%

3. お持ちになっているもの種類 (複数重複回答・一人で何台でも)

		所有機種名	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計	所有機種割合
女性 23人	1	携帯				5	1	2	8	11%
	2	아이폰		1	2	1	1	1	6	8%
	3	スマホ		2	1	4	4	1	12	16%
	4	タブレット		1	1	2	1	1	6	8%
	5	ノート		2	2	4	5	3	16	22%
	6	デスクトップ		1	2	7	1	1	12	16%
男性 51人	1	携帯			6	8	9	8	31	42%
	2	아이폰			3	5	3	2	13	18%
	3	スマホ	1		2	4	8	3	18	25%
	4	タブレット			7	5	3	4	19	26%
	5	ノート	1		6	9	13	7	36	49%
	6	デスクトップ	1		4	8	9	4	26	36%
合計 74人			3	7	36	62	58	37	203	
	1	携帯			6	13	10	10	39	53%
	2	아이폰		1	5	6	4	3	19	26%
	3	スマホ	1	2	3	8	12	4	30	41%
	4	タブレット		1	8	7	4	5	25	34%
	5	ノート	1	2	8	13	18	10	52	71%
6	デスクトップ	1	1	6	15	10	5	38	52%	
			3	7	36	62	58	37	203	

※所有する台数別による人の割合：

1台=14% 2台=35% 3台=33% 4台=7% 5台=9% 6台=2%

※所有する機種・機種の組合せ：(傾向)

1台の場合=携帯/スマホ/デスクトップ

2台の場合=携帯+デスク/携帯+ノート/スマホ+デスク/スマホ+ノート/アイ+ノート

4. 使用頻度について (A=高頻度、B=中頻度、C=低頻度 複数回答可)

☆所有機種と使用頻度の関係

1. 携帯電話 (A=12%、 B=14%、 C=16%)
2. アイフォン (A=26%、 B=5%、 C=2%)
3. スマートフォン (A=16%、 B=19%、 C=5%)
4. タブレット (A=7%、 B=44%、 C=16%)
5. ノート (A=26%、 B=28%、 C=12%)
6. デスクトップ (A=14%、 B=21%、 C=7%)

5. 今日の話は、わかりやすかったですか。(難易度5段階) (無記入=21%)

難しかった=0、やや難しい=7%、普通=7%、やさしい=14%、よくわかった=51%

6. SNSをやってみようと思いますか。

※(事前アンケート・無記入=4%)

1. 思わない=30%
2. 面倒・まよっている=13%
3. 思う=3%
4. やっている=50%

※(当日アンケート・無記入=5%)

1. 思わない=7%
2. 面倒・まよっている=14%
3. 思う=44%
4. やっている=30%

7. SNSをやっている方に伺います。よく使うSNSは何ですか。(複数回答可)

※やっている方(事前50%&当日30%⇒39%)の内の割合、

1. LINE=43%
2. ツイッター=11%
3. フェイスブック=31%
4. インスタグラム=5%
5. その他=3%

8. 身内以外の若い人と話をしますか(通信・顔を合わせて・話題・を問わず)

1. 話をしない=5%
2. ときどきする(月に数回)=53%
3. よくする=40%

9. 身内以外の同年代の人と話をしますか(通信・顔を合わせて・話題・を問わず)

1. 話をしない=2%
2. ときどきする(月に数回)=33%
3. よくする=63%

10. 教会のホームページを見ますか(どこの教会でも)

1. 見ない=16%
2. ときどき見る(月に数回)=63%
3. よく見る=21%

11. 印象に残ったホームページの教会名を書いてください。(重複⇒複数の方が挙げておられた)

深沢教会、赤坂教会、目白教会、教団外の教会(日本キリスト教会、インマヌエル教団)

三崎町教会、鳴海教会、銀座教会、浅草北部教会、下谷教会、久ヶ原教会、聖イグナチオ教会、

吉祥寺教会、聖ヶ丘教会、横浜菊名教会、富士見町教会、越谷教会、本郷中央教会、深沢教会、

蕃山町教会、荒川教会、主イエス・キリスト教会、阿佐ヶ谷教会、西片町教会、中渋谷教会、

松戸教会、狛江教会、鎌倉雪ノ下教会、深沢教会。

12. 感想等自由記述(記入されてある通りに転記しました。)

A(当日アンケート)

04. 今日しばらく使っていなかった「ツイッター」に入って(アプリをダウンロード、アカウント作成)ツイッターの発信までしてしまいました。あまり使っていなかったのですが、週一ペースで発信するのも良いかな、と思いました。

06. 少しカンタンすぎた。

08. なんだか、みなさま まじめに とり組む方が多くて・・・今日の目的を理解していないなあ・・・

09. 毎週の礼拝案内をきっちり更新している教会のHPは読む価値があると思われる。ツイッターも試してみたいと思います。春原先生、感謝いたします。

11. 分かりやすく面白かったと思います。今まで、警戒心から敬遠していましたが、一度、気軽にやってみようかな、と思い始めています。

14. これで始めた人たち、大丈夫だろうか、少し心配です。自分の身を守る具体的な方法を教えた方がいいと思います。
17. どこかの国の大統領の所為もあって、Twitter への印象が悪くなかったのですが、春原先生のお話で変えられました。又、始めたら異なる意見の人と「戦うモード」に入ってしまうのではないかと、炎上するのではないかと腰が引けていましたが、それも気にしなくて良いというお話で、前向きになれました。
19. キリスト者としての存在のために Twitter は必要であると考えた。一度、ためしてみたい。
21. 日本キリスト教会（すごくマイペース、あまりよくないが、それ位でないと成長できないのではないかと）単立、（かなり限界の中、手さぐり）わらすがり、さがしまわってなんとかたどりついている感じ、すばらしいが、これでよいのかと思う。）
 インマヌエル教団（ハッキリして前に進む勢いがある。牧師、信徒の役割がしっかりしている。）
 ※教団のくさりかかっている等の・・・（判読難）・・・しあわせ信仰のひどいこと、教会は幸せ新興宗教の集まりクラブ。難しいと来なくなる。・・・ちゃんと教育しようとする来なくなる。あまやかしてだまして、洗礼をうけさせている。（今がちゃんすとばかりに）。出エジプト記が場面が変わってキリスト十字架役である、福音書は基本であるが、いまはペンテコステ役である。・・・日本会議とか日本は宗教で政治で動くので、検討する必要がある。でも教会は今日のものではないのではないかと。生きてない、死んでいるのだ？ 現実の世界でしっかり生きているのか、そういう証し体験談が少ない。
24. 趣味の会の仲間とのラインだけでも面倒くさいと思っています。今日の話聞いて、ツイッターは楽しめそうにないと分かりました。居心地の良い人達とつながってほしいと思いました。うまく発信できる自信がありません。
30. SNS とくにツイッターを試してみたい。とりあえず。パソコンから試したい。
32. 聖イグナチオ教会（東京）：3年ほど前は、Top Page から神学論争的な、上から目線のプレゼンであったが、昨年辺りから、この道（HP PR）の専門家が創ったと思われるソフトで親しみ易い内容となった。
 日本基督教団：吉祥寺教会、簡素ながら見やすく、親しみを感じる。
 日本基督教団：聖ヶ丘教会、全体の構成、牧師のメッセージ、アクセルの地図。
35. 教会での使い方についてもふれていただけるとよりありがたかった。（先生の Twitter の中で、本日の対象者については事前にふれられていたので、チェックしなかった方がわるいのですが）
 ・ #タグというのは便利ときいたのでそのくらいは説明があってもよかったかと・・・
 ・キリスト者では結城浩さんと言う人はうまくはっしんされていなあとと思うことが多いのですが、そういう人達の Twitter をみせてもらえるとよかったかなあと思いました。
36. 教会として、SNS をどのように用いることができるのか？と思って参加しましたが、今回は、個人としての用い方と言うことで、少し、思っていた事と違いました。マ、ツイッターをしていないので、実際に、どのようにはいって行くのか、という基本の基本がわからなかったのが残念でした。しかし、まとめで、先生が言ってくださってことは、心に留めたいと思いました。
37. SNS を通して、つぶやきでも ひとことでも、いつか証しできる者になりたいと思いました。また SNS を通して、祈れる者になれたら素晴らしいと思いました。ありがとうございました。
39. とてもわかりやすかったです。又 機会があれば聞きたいです。
42. 牧師に「自分はよく分からないので、参加してきて。」と言われ・・・参加しました。私自身は、IT 業界で勤めており、教会の HP 更新の奉仕をしているため、ある意味、操作や技術、専門的知識はありますが、教会として、クリスチャンとしてどう活用するかに関心がありました。イメージとしては、伝道担当役員とか、教会学校教師の参加が多いかなと思ったのですが、想像以上の高齢者が多くびっくりしましたが、皆さんの向学心、好奇心の高さに感心しました。これをヒントに私の教会の高齢者向けに Twitter 講座やろうかなと思いました。個人的には教会のオフィシャルアカウントとしての SNS ページの管理運営がネックでどうにゆうしてないので、そのあたりのノウハウが知りたいです。
43. 教会の HP と SNS の関係についての説明会かと思ひ、参加しました。この観点からの企画があればよいと思います。

B (事前アンケート)

- 001 スマートフォンは高齢者には必須の道具だと家内と良く話しています、子供達との連絡、孫のサポート、毎日の聖書講読、音楽鑑賞、Youtube、旅行準備、道順検索、友達同士の連絡、買い物の下調べ、芸術鑑賞、買い物、読書、などなど、なくてはならない道具で、老後の生活をとても豊かにしてくれます。
- 002 SNS は時間的に取られる思いで、その時間分には、新聞や本を読みたいと思うタイプです。
- 006 フェイスブックは、写真等が多く時に見るのが面倒くさくなる。
- 008 簡単で、しかも広く読まれるSNSを知りたい。
- 012 自分の教会（蕃山町教会）のHP 委員会に属しているので、他教会のHP も含めてよく見るほうです。伝道に役立つためには、何をトップに持ってくれば良いのか、更新頻度はどの程度が良いのか、コンテンツは何が最低限必要か・・・など悩むところです。教会予算との兼ね合いもありますね。また、FB との併用もしておりますが、HP との住み分け方もまだ結論を見いだせておりません。良いお知恵を拝借できれば幸いです。
- 013 ホームページは自分の教会以外にあまりみません。しかし、その教会を訪問をしたり、教会を調べる時に良く見ます。
- 018 SNS をもっと活用する方が良い。との認識もあるが、難しいとの先入観が先ずある。また、被害者となる可能性の高いとの思いもある。電話が普及し始めたころの爺さんと全く同じ感想です。若い世代により有効な活用をして欲しい。と願う。
- 019 必要に応じて（例えば、住所や地図等を確認する場合等に）利用するのであり特定の教会のホームページとしては思い浮かばない。
- 021 いろいろなサイトがありよくない印象が多いので名前はあげませんが、
- ・歴史を過度に強調するもの。特に明治時代や昭和初期の有名人との関係を強調するもの
 - ・牧師の紹介がまったくない教会（交代した後の牧師がないことが結構多い。おそらく前の牧師が作っていたサイトで、交代とともに後の牧師がなにもいじれないのでは）
 - ・教会員の名前が無造作に扱われているサイトはちょっと心配
 - ・おなじく集会の写真の扱いなども最近は微妙であると思う
 - ・SNS（牧師個人）については、あまりに自分の業績の宣伝がすぎると感じると嫌味になる
 - ・技術的にはフラッシュを使ったサイトは時代遅れであるような印象
 - ・リンクが充実していると、作成者の熱意を感じることがある（ただしメンテされてないと逆にマイナス）
 - ・個人的には図や写真が満載のサイトよりも文字できちんと表現されているサイトの方が好感がもてる。また、視覚の弱い方が読み上げソフトを使う場合、さらには日本語が苦手なかが、翻訳ソフトで翻訳するのも文字ベースのほうが良いと思う。
- 023 フェイスブックもしていないわけではありませんが、お付き合いで「いいね」を押したりしないといけないうので面倒です。結果、フェイスブックは一部の人だけのやるSNS になっています。やがて廃れるでしょう。意外に良いのがツイッターです。フォロワーにいちいちお付き合いする必要もないし、不特定多数の人々に情報発信するには有効だと思います。
- 024 教会への招きに、ホームページは有効な手段になっていると思います。活用している教会と、あまり活用していない教会との差が出ているとも感じます。教会へ行ってみたいと思いつつ迷っている方々へ、魅力的なホームページの作成方法など、教団総会で触れる機会が複数回あるとよいと思います。
- 025 所属教会に限らず、教会のホームページは必要な時だけ見ます。
- 028 鎌倉雪ノ下教会（加藤常昭先生の説教集を読んで興味をもったため）
- 029 印象に残らないホームページが多い様に思いました。
- 030 最近、50代の独身女性から20~40代の方の仕事・家庭に対する考え方が50代の人と変わっている事を聞かされました。共稼ぎが常態化していますが、夫婦互いに家庭中心になり仕事が軽く見られている由、昭和50年頃以降生まれた人から、仕事の面でも将来への希望を持つ時間的余裕を失っているようです。

以上